

育 Me 科 学習指導案「ありがとうを伝えよう」

○ねらい

1年間の最後に自分の成長を支えてくれた人について考え、感謝の気持ちを言葉で伝えることができる。

○事前課題

年間を通して、自分の成長を振り返ったときに、自分を支えてくれた人を思い浮かべる。ワークシート「ありがとうラップ」を配付することで、発達段階によって感謝したい相手は同じでも内容が変わることも気づかせる。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習「リフレーミング」をペアで確認する。 <p>2 学習内容の理解とモデリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が成長している裏には、誰かの支えがあることを確認する。事前課題のプリントを基に全体で確認。 (例)体の成長→家族がご飯を作ってくれる、心の成長→苦しい時に助けてくれた先生、など ・言葉の量、具体で感謝の気持ちを受け取る側の気持ちが違うことにモデリングを通して理解する。 1回目…「1年間ありがとう」のみ 2回目…具体を挙げながらありがとうを伝える ・本時は手紙(相手の名前を用いたあいうえお作文)で感謝の気持ちを伝えることを共有する。 <p>3 本時のめあての掲示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>具体的な言葉で感謝の気持ちを伝えよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで確認後、全体で確認する。 ・モデリングは教師が児童を相手に行い、児童に受け取る側の気持ちを体験させる。2回目のほうが嬉しい気持ちになることを確認する。 ・教師が作成したありがとうの手紙を例に挙げ、本時作成する手紙のイメージを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おかめのあいさつ」を用いる。 ・モデリングを通して「ありがとう」の一言だけでは十分に気持ちが伝わらないことを明確に理解させる。
展開	<p>4 活動1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙の上段に、感謝したい相手の名前を記入する。 ・名前の1文字ずつを頭文字にし、感謝の気持ちを作文する。 <p>用紙を複数枚準備し、必要に応じて下書きさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に手紙用紙を配付する。 ・複数人の教師が事前に手紙を作成しておくことで、児童に具体的なイメージを作らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が机間指導しながら声かけをし、必要に応じて対話することで、感謝の気持ちの具体を引き出す。
まとめ	<p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した手紙を相手に渡す日取りを担当と共有する。 ・感謝の気持ちを具体的に表せたことで、手紙を作成した自分も温かい心になることに気づかせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【出口での児童の姿】 「母に手紙を渡した際、とても嬉しそうにしていた。普段の生活でお礼を伝えるときも具体的に伝えられるようにしたい。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・後日、相手に手紙を渡したか確認する。また、その際に手紙を受け取った相手がどんな様子だったか問うことで、具体的に感謝の気持ちを伝える良さを実感させたい。 	